

高橋用水改修(昭和)記念碑

高橋用水は、矢作川の左岸、高橋町地内を水源として六ツ美地区の高橋、上青野、下青野、上合歓木、下合歓木、福桶、下三ツ木、安藤、中島を経て西尾市吉良町に至るものである。用水路は延長約5.1kmにおよぶ農業用水路で、高橋用水受益279ha、高落用水受益の一部165ha、合計444haの水田に水を供給している。高橋用水は、現在パイプライン化され地下に埋設されており、通水路になっているところもある。

用水路は1882(明治15)年に計画され、翌1883(明治16)年2月に工事が始まり5月に完成した。1908(明治41)年から1911(明治44)年にかけて矢作川の取水口が大改修された。その後、1942(昭和17)年にも改修工事が行われた。1944(昭和19)年12月の東海地震、1945(昭和20)年1月の三河地震により用水路は被害を受けたため、1948(昭和23)年から10年をかけて再度改修工事が行われた。また、1956(昭和31)年から8年の歳月をかけ、コンクリート水路に改築する工事が行われた。改築後30年余におよび老朽化が進んだため、1993(平成5)年に再度改修された。高橋用水記念碑は高橋町の矢作川左岸に建立されている。

明治・大正期に高橋用水の完成・改修に尽力したのは衆議院議員の早川龍介(1853~1933)と六ツ美村の初代村長であった鍋田恒雄(1848~1931)の2人である。高橋町の取水口にある記念碑(1919(大正8)年)には鍋田恒雄の名前が発起人の一番初めに刻まれている。

・高橋用水完成(昭和)記念碑(表面)

高橋用水路改修記念碑

矢作川の河相の変化による取水対策として、さきに県営で着工せられた導水渠等の工事は、昭和17年5月に完成したが、その後、昭和19年、20年の三河震災により破損したので再度取水不能となり、その代償工事として、昭和23年県営主要支脈川改良事業で矢作川左岸寄りに50mの水圧式回転堰を設置、その延長対岸まで247,2mに及ぶ床留堰提を施工し、なお導水路及び特殊な沈砂池、ならびに幹線水路3,026,92mを総事業費49,532,000円で昭和33年度に完成した。

これと併行して、昭和31年度から8年間にわたって、国営羽布ダムならびに合口事業の用水受入態勢が早期に完成するよう、幹線は7,874,07mを43,911,000円で主要支脈川は21,551,07mを83,197,000円でそれぞれ

三面張りコンクリート舗装あるいはU字フリーフォーム工法で、補助あるいは非補助の団体営事業として着工以来16年余の才月と多額の費用をかけて、改修整備を完了した

この事業費総額は132,729,000円でうち国庫支出金9,282,000円

県費補助金30,917,000円、当改良区は72,530,000円を負担した。

とくに組合員諸氏は、多額の負担にもかかわらず事業の重要性をよく認識され、工事末期における組合費は完納という強いべんたつを受け、役員一同奮起、工事の早期完成に努力されたことは、関係官庁はじめ工事関係者各位の労苦と努力の尊い結晶であって、完成に当たり組合員各位の協力援助を深謝するとともにこの喜びを記念する碑を建て、ここに永久に後世に伝える

・高橋用水完成（昭和）記念碑（表面）

高橋用水土地改良区役員並びに総代氏名

理事長	赤松虎太郎	前理事長	牧野 治	元理事長	野田仙太郎		
理事							
合歡木	磯村 茂	中島	赤松虎太郎	上永良	加藤 文雄	室	神谷要太郎
全	河原久次郎	全	八木 源松	下永良	久永 武		
福桶	成瀬市三郎	下羽角	河島 正雄	駒場	本田 重吉		
監事							
中島	山本 定一	上羽角	加藤 襄	花藏寺	近藤 定市	寺島	天野 亀録
総代							
高橋	太田 由松	安藤	杉浦 勝市	下羽角	服部又一郎	高落	石川 博
全	高山 清志	全	杉浦直次郎	全	鈴木 春雄	全	名倉新三郎
全	伊奈 勘助	全	市川 好秋	全	鈴木徳次郎	全	石川伊之三郎
全	瀬戸正太郎	正名	早川 順治	貝吹	名倉幸太郎	江原	牧 一郎
全	高山 数雄	中島	山本 與市	全	野口 金一	全	笹尾 虎二
全	高山初太郎	全	鋤柄 熊吉	全	名倉幸太郎	家武	富田平二郎
合歡木	前田 源作	全	山本 正雄	全	伊藤喜三郎	全	青山清十郎
全	加藤 星王	全	牧 與三郎	全	中桐 正男	駒場	浅井 正己
全	鳥居 昇平	全	鶴野徳太郎	上永良	鈴木 武二	全	浅岡 重雄
全	二村 俊逸	全	榊原 礼三	全	田口 一雄	全	本田正一郎
全	蜂須賀六三	全	鈴木 秀一	全	加藤 又吉	全	岡安茂三郎
全	竹本 三郎	全	高原 孝治	全	牧野 治	全	永吉三九郎
全	犬塚 英逸	全	新家栄太郎	全	鈴木 嘉一	全	新家甚三郎
全	犬塚 義忠	全	太田仁右衛門	全	新家 三郎	室	堀井 五三
全	二村 久治	全	石川 留吉	全	野沢佐一郎	全	磯谷 光雄
全	清水 来吉	全	杉浦藤三郎	全	加藤源之丞	全	山田 與市
全	蜂須賀孫一	全	鋤柄 虎吉	全	加藤 恒雄	全	磯谷 保平
全	前田友佐久	全	大竹 盟	全	石川 乙吉	全	山口 友吉
全	蜂須賀 保	全	石川亀太郎	下永良	加藤 吉正	全	山口 一三
下青野	新実 清松	全	加藤 公平	全	新家 侖	全	堀井 末吉
全	牧野新太郎	全	村山菊太郎	全	加藤 茂	全	磯谷時治郎
全	伊奈 愛吉	全	榊田 又市	全	杉山 武雄	善明	近藤 万吉
下三ツ木	佐藤 光治	全	市川 良平	全	鈴木 金治	全	近藤 善七
全	鈴木 柳藏	全	斉藤 政市	全	鴨下 清春	全	野沢 修
福桶	山崎 式夫	全	斉藤 熊吉	全	牧野 孫一	全	小野内 勲
全	杉浦伊三郎	上羽角	金子 員一	全	新家 虎雄	花藏寺	小笠原義夫
全	成瀬 賢吉	全	杉浦 栄	全	加藤 吉次	全	都築 潤一
全	野田仙太郎	全	岩瀬 岩吉	全	筒井 義倉	全	尾崎市太郎
全	鈴木亀太郎	全	加藤伝一郎	全	榊原 松次	全	伊藤信太郎
安藤	杉浦春太郎	下羽角	榊原 新六	岡島	渡辺 正美	全	都築 恵逸
全	足立 新一	全	鈴木四五市	尾花	名倉 重雄	全	小笠原兵三郎
全	杉浦松太郎	全	服部 又三	全	名倉 光治	全	加賀喜三郎
全	市川 正春	全	鴨下朝太郎	全	杉浦 茂	岡山	杉浦 佐市
全	杉浦栄千代	全	杉浦 栄	全	三輪 政一	全	鈴木 庫吉
全	杉浦 寿一					瀬戸	尾崎喜代松
事務所職員							
局長	倉田 一郎	技術員	山崎 貴充	書記	黒野 菊江	用務員	太田 正春
書記	森島 光次	書記	天野 孝司	全	加藤 紀幸		
全	新実 澄子	全	浅井 昭五	全	柴垣富士子		
技術員	太田 淳	全	神谷 幸子	全	兼子 道代		

昭和四十一年五月建立

施工 藤田石材合資会社



高橋用水記念碑群 20150726 左側が大正時代、右側が昭和時代



1966(昭和41)年5月建立 20150726

高橋用水土地改良区役員並びに総代氏名

